

議 事 概 要

会 議 の 名 称	令和元年度第2回弘前市伝統的建造物群保存地区保存審議会
開 催 年 月 日	令和2年1月30日(木)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後2時から午後3時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会会長 今井 二三夫
出 席 者	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会評議員 葛西 満 弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会副会長 小坂 清輝 時敏地区子育て支援員 工藤 綾子 弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会評議員 小林 敬子 弘前市文化財審議委員長 福井 敏隆 青森県立弘前工業高等学校教諭 岡田 俊治 学校法人東北工業大学講師 中村 琢己 弘前市建設部長 天内 隆範 弘前市都市整備部長 野呂 忠久
オ ブ ザ ー バ ー	なし
欠 席 者	弘前市財務部長 須郷 雅憲 弘前市観光部長 岩崎 隆 (代理出席：弘前市観光部観光課観光企画係主事 吹田 昂平)
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	教育部長 鳴海 誠 文化財課長 小山内 一仁 文化財課長補佐 神 弘樹 文化財課主幹 小石川 透 文化財課主査 大高 堅壺 文化財課主事 清野 優雅
会 議 資 料 の 名 称	資料1：弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し調査結果の報告(概要)について 資料2-1：弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し方針(案) 資料2-2：伝建地区保存のための支援制度 ～助成制度～

会議内容

(発言者、
発言内容、
審議経過、
結論等)

1. 開会

2. 会議 議長：今井委員長

議題①

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し調査結果の報告（概要）について

事務局より説明。質疑、意見等は以下のとおり。

中村委員

実際に見直し調査を担当していることから、追加で説明する。保存地区の本質的な価値ということで、大きく4つのポイントをまとめているが、(1)地割と(2)屋敷構えに本質的な価値があるので継承していくというのは文化財としての評価をより深化させていくという方針。一方、(3)自然環境との共生と(4)近代以降の変遷への評価を大切にしていくというのは、今回の見直し調査の大前提である住環境の向上による持続可能な保存地区を目指すうえで重要な考え方として設けているもの。

これは、これまでのように文化財としての武家町の景観を守ってだけでなく、(3)と(4)の原則を加えることで、住環境の向上を積極的に進めていくというもの。

議題②

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し方針（案）

事務局より説明。質疑、意見等は以下のとおり。

小坂委員

昨年から、公開武家住宅の指定管理業務に携わるようになり、仲町の町並みに対する市民の理解が十分ではないと感じている。弘前公園までは来ても、仲町までは足を運ばないという市民がほとんどだと思うので、市の広報紙や小中学校の町並み学習の場などで仲町地区について積極的に情報発信をしてもらいたい。

【事務局】

ご指摘の通り、仲町地区を含む弘前公園北側への市民を含む入込客数の増加は、市としても長年の課題として認識している。

市としては、広報などで仲町地区や公開武家住宅の情報発信を強化することはもちろん、町並み学習の際には、学校からの

要望があれば、文化財課の職員が現場で解説をしているので、今後も継続していき、子どもたちを巻き込みながら市民への周知を強化していきたいと考えている。

福井委員

弘前市文化財審議委員会議でも、要望しているが、固定資産税の軽減については、出来るだけ早く実現してもらいたいと考えている。また、補助金の上限額を引き上げたいとのことだが、どの程度までの引き上げを考えているのか。

【事務局】

上限額引き上げの具体的な数字については、今後の見直し作業の中で、財政部局等との調整を経たうえで検討することになる。上限額を引き上げる一番の目的は、所有者の経済的負担の軽減であるので、その目的をしっかりと達成できるよう検討していきたい。

葛西委員

管理が不十分なサワラ生垣がいくつかあるのが気になるが、一番の課題は、道路舗装である。石畳風舗装の表面が劣化しはがれている部分が多くあり、観光客にも恥ずかしいと感じているので、何とかしてもらいたい。

天内委員（建設部長）

舗装面が短期間で劣化し、骨材が飛散し、地区住民の皆様にご迷惑をおかけしていることについて、お詫びする。

劣化の原因については、ある程度推測出来ているが、推測している以外の原因を確認するため、サンプルを回収して専門機関に調査を依頼する手続きを進めている状況。

今後は、その調査結果等を踏まえ、補修案を取りまとめ、可能であれば来年度の早い段階で町会に説明したいと考えている。

葛西委員

コンクリートの粉末が飛散し、大変な状況となっているので、例えば、その部分だけでもアスファルト舗装をするなどの応急処置としての対応はできないのか。

天内委員（建設部長）

今の時期のアスファルト舗装は、気温の関係ではがれやすいという問題があるが、現場の状況を見ながら早急に対応しなければならない部分については、しっかり対応していきたい。

工藤委員

町並み学習は、学生にとっても非常に良いものだと思うので、継続して行ってほしい。

道路の石畳風舗装について、今後も同様の方法で施工する予定はあるのか。また、空き家・空き地への対応はどうか。

天内委員（建設部長）

吉野町のレンガ倉庫の前の道路を、石畳風舗装で施工している。また、現在、行っている仲町地区の亀甲門前から春日町へ通じる南北の通りについては、材料や施工方法を見直しており、従来のものよりは耐久性のあるものとなる見込みである。

空き家・空き地については、基本的には所有者が維持管理を行うものであるが、例えば、サワラ生垣が側溝を覆い隠し道路通行に支障をきたし、なおかつ、所有者の了解を得られた場合であれば道路維持課でせん定することも可能だと思う。ただ、空き地の雑草については、環境課にて対応することになるので、そちらに相談してほしい。

小林委員

空き家・空き地でサワラ生垣が道路側に傾いていて、危険な箇所がいくつかあるので、今後、行政と住民が連携して取り組む仕組みを検討することなので、期待したい。

岡田委員

サワラ生垣は、仲町にとって、非常に重要な要素だということは十分に認識されているので、行政がしっかりと整備していくという方針を打ち出して、早急に対応してほしい。

町並み学習についても、弘前工業高校だけでなく、周辺の弘前高校や弘前中央高校なども巻き込んで地域の活性化を進めていかなければならないと思う。

野呂委員（都市整備部長）

都市整備部で所管している弘前レンガ倉庫美術館の関連事業で、今年度、旧紺屋町消防屯所を活用して作品を制作した事例があるので、今後、同様に仲町地区でも行うのであれば、文化芸術の振興に向けて連携して取り組んでいきたいと考えている。

中村委員

全国の伝建地区でうまくいっている地区は、例えば、建築業

者が自主的に景観ガイドラインを作成していたり、長野県南木曾町妻籠宿の「売らない・貸さない・壊さない」という住民憲章があったりと、保存計画だけでなく、それに付随するマニュアルやルール作り、組織が整っている。保存計画を見直し、より良い保存計画を作ることはもちろん重要だが、保存計画はあくまで原理原則であるので、保存計画を踏まえて、どんなルールや組織が必要なのかといったことを見据えて、今後の見直し作業を進めていく必要がある。

(質疑、意見等は以上)

3. 閉会